

北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ事業報告書〔令和5年度（2023年度）〕

学校名	北海道有朋高等学校	(定・通)	校長名	阿部 穰
所在地	札幌市北区屯田9条7丁目			

(令和5年(2023年)5月1日現在)

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計	教 員 数 (校長・教頭を除く)		
生徒数	男	535	233	374	311	1,453	教 諭	55
	女	577	355	525	390	1,847	養護教諭	0
	計	1,112	588	899	701	3,300	合 計	55
学 級 数	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32	実施校12 協力校32		

協力校	北海道稚内高等学校	(全・定・通)	校長名	矢橋佳之
協力校		(全・定・通)	校長名	

実践研究の概要	(実践研究課題)	(実践研究の実施内容)
	イ 通信教育の改善・充実  (1) 協力校に在籍する生徒に係る学習の質の向上及び支援体制の整備  (2) 協力校における地方指導員、面接指導講師の負担軽減の方策の改善・充実	(1) 協力校における生徒の学習の取組状況を把握し、協力校の地方指導員及び面接指導講師の指導方法の改善・充実を図る  (2) 協力校の生徒への望ましい学習支援に向けた、実施校教員による学習支援体制の充実を図る。
成 果	(1) 協力校における課題を明確にして実施校として支援できる内容を全体で共有し、地方指導員及び面接指導講師の負担軽減を図ることで、協力校生徒への学習支援体制を整備し、学習の質の向上を図ることができた。 (2) 生徒一人一人の特性に応じたきめ細かな学習指導・支援を実施することで、「自立と社会参加」へ繋げていくことを協力校及び実施校で改めて確認できた。 (3) 校内教育相談体制の確立及び外部専門機関との連携強化への取組を推進し、定時制・通信制教育に関わる教職員一人一人の意識向上とスキルアップを図ることができた。 (4) 協力校の教育資源の活用を含めた「チーム学校」体制の構築に向けた、具体的な教育相談体制の充実について全教職員が共有できた。	
実施上の課題	(1) 協力校における教育相談体制の確立 (2) 協力校のある地元自治体における関係機関との連携 (3) 対面による地方指導員及び面接講師との情報共有体制の充実 (4) 遠隔地の連携機関との個人情報を含む情報共有の仕組みづくり	
事業実施による成果の普及状況	(1) 北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ研究協議会における報告や協議を通して、本事業の成果と課題を踏まえた改善の方向性を明確にしたことで、次年度の取組の充実につなげることができた。 (2) 北海道高等学校通信教育研究協議会において、今後の通信教育の改善・充実について説明を行うことにより、本事業の成果を広く普及することができた。	
その他特に記載すべき事項	特になし	